

令和7年度 第72回三重県中学校柔道大会要項

1. 主 催 三重県中学校体育連盟・三重県教育委員会・亀山市教育委員会

2. 主 管 三重県中学校体育連盟柔道競技専門委員会

3. 後 援 朝日新聞社・(公財) 三重県スポーツ協会・三重県柔道協会

4. 会 期 7月26日(土) 受付・計量 … 8時10分～9時00分
(男女団体戦) 審判監督会議 … 9時00分～9時20分
開始式 … 9時30分～

※団体戦計量、個人戦の前日計量を別々に行います。

※団体戦は1回計量、個人戦は時間内計量とする。

7月27日(日) 受付・計量 … 8時10分～9時00分
(男女個人戦) 審判監督会議 … 9時00分～9時20分
開始式 … 9時30分～

※26日に計量をしていない選手のみ。

5. 会 場 『西野公園体育館』〒519-0165 亀山市野村二丁目5番1号 TEL0595-82-1144

6. 競技規則

(1) 国際柔道連盟試合審判規定・国内における少年大会特別規定による。

(2) 「優勢勝ち」の判定基準は次の通りとする。

ア 技の評価は「有効」以上とするが、技の評価が同等の場合で「指導」差が2以上開いたときは、少ない選手を「僅差」の優勢勝ちとする。「指導」差が1以下のときは団体戦の個々の試合は「引き分け」とし、個人戦は時間無制限のGS方式によって勝敗を決する。

※GS方式とは、先に「有効」以上の技による評価を得た試合者が勝ちとなり、「指導」をとられ、相手より指導の数が多くなった試合者が負けとなる。

イ 代表戦は任意の選手とし判定基準は団体戦と同様とするが、技の評価が同等の場合はGS方式によって勝敗を決する。延長戦による勝敗の決定方法は個人戦と同様とする。

(3) 試合時間は、団体戦・個人戦とも3分間とする。

7. 競技方法

(1) 団体戦

①試合は、トーナメント戦で行う。

②勝負は、勝敗の同じ場合は、内容により決定する。

(「一本」＝「反則勝」>「技有」>「有効」>「僅差」)

③各試合は、選手(男子5名・女子3名)による点取り試合とする。編成は、全国大会に準じ、体重の最も重い者を大将とし、以下体重順に編成すること。また補欠選手のみ、選手と交代できる。

ただし、体重順に編成し直すこと。計量は時間内に全員(男子7名・女子4名)が行う。

(2) 個人戦

①試合は、トーナメント戦で行う。

②階級は、男子8階級、女子8階級とする。

③体重が適合しない場合は、失格とする。※無理な減量はしないこと。

④男子個人戦は、3位決定戦を行う。

8. 参加資格

(1) 令和7年度三重県中学校総合体育大会兼全国・東海予選会開催基準要項【6】大会参加資格に準ずる。

(2) 地域クラブ活動の参加は日本中体連柔道専門部が定めた細則に準ずる。

(3) 男女団体戦ー1所属1チームずつ(男子：正選手5名、補欠2名・女子：正選手3名、補欠1名)とする。 ※地区大会に出場したチームのみ。

- (4) 男女個人戦—地区大会に参加し、出場権を得た選手とする。 ※同階級とする。
- (5) 学年を問わず、柔道経験者とする。(柔道経験者とは柔道の修業を始めて6ヶ月程度経過しており、乱取稽古や試合で受身がしっかりとれる者とする。)
- (6) 皮膚真菌症(トングランス感染症)について、発症の有無を各所属の責任において、必ず確認すること。感染が疑わしいか、もしくは感染が判明した場合は、迅速に医療機関において、的確な治療を行うこと。選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会への出場できない場合もある。
- (7) 脳震盪について、選手および指導者は下記事項を順守すること。
- ① 大会前1ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。
 - ② 大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。
(なお、至急、専門医[脳神経外科]の精査を受けること)
 - ③ 練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。
 - ④ 当該選手の指導者は大会事務局および全柔連に対し、書面により事故報告書を提出すること。

9. 引率者・監督及びコーチ

- (1) 引率者・監督及びコーチは、当該中学校に勤務する校長・教員・部活動指導員や校長が適切であると判断した外部指導者、地域クラブ活動の責任ある代表者・指導者とする。同一人が複数チームの監督・コーチとして登録することは認めない。
- (2) 外部指導者は、校長から発行されたコーチ確認書を申し込み時に提出すること。
 - ① 当外校以外の中学校教職員は外部指導者になれない。
 - ② 同一人が複数校の外部指導者として登録することは認めない。(競技が異なる場合も含む)
- (3) 地域クラブ活動の引率者・監督及びコーチは全柔連公認指導者資格を有していなければならない。
※審判に準じた服装をすること。

10. 柔道衣点検

- (1) 柔道衣は規定に合うものを着用する。
- (2) 女子の下着は白の無地丸首Tシャツとする。(ワンポイント可)
- (3) 柔道衣にゼッケン(学校名・名字入り)を縫いつけて出場すること。
 - ① サイズは、横 30～35cm、縦 25～30cm
 - ② 名字(姓)は上側2/3、学校名は下側1/3
 - ③ 書体は太字ゴシック体(明朝体でもよい)、男子は黒色、女子は赤色。
 - ④ 縫いつけ場所は、後ろ襟から5～10cm下部の所で、対角線にも強い糸で縫いつける。
- (4) 本大会に使用する柔道衣・帯の規格は、新規格とする。(柔道衣に関しては赤のIJFマークまたは赤の認証番号の付いているもの。帯に関しては、赤・青のIJFマークまたは赤・黒の認証番号の付いているもの。)

11. 申し込み

- (1) 申し込みには、次の書類と参加料が必要です。
 - ① 参加申込書
 - ② コーチ確認書【県中体連様式】
 - ③ 参加料(参加選手一人につき1,500円とする。)
 ・各校柔道部顧問または責任ある代表者は各地区専門委員長へ提出(〆切は各地区で決めてください。)
- (2) 地区一括申し込みです。各地区専門委員長が地区大会終了後取りまとめ、団体プログラム枠と個人プログラム枠を使用し、メールで送信してください。(必ず記入例に従ってください。)
 - ・各地区専門委員長は鈴鹿市立大木中学校 山田まで(〆切 7/15(火)17時厳守)
 - ・各地区専門委員長は、各校からの上記①②③を専門部委員会の際に提出下さい。

大会の主催者は、個人情報保護に関する法令を遵守し、取得する個人情報について適正に取り扱う。取得した個人情報、競技大会の資格審査・競技大会運営上必要なプログラム編成及び作成・ホームページ・掲示板・報道発表・記録発表(記録集)等、その他競技運営及び競技に必要な連絡等に利用する。大会に参加する各選手はこれに同意する。ただし、参加生徒の個人情報に関わって、当該校長または責任ある代表者が配慮を必要と判断する場合は、該当種目専門委員長と協議のうえ対処する。

12. 当日提出物

引率・監督

- ①オーダー表 ※用紙は、模造紙1/4の大きさ（79cm×29cm）
（団体戦のみ） 下のように記入のこと。女子は次と副を空けること。

三	先	次	中	副	大
重	○	○	○	○	○
	○	○	○	○	○
中	○	○	○	○	○

13. 表彰 男女団体戦・男女個人戦各階級の優勝者、準優勝者、3位・・・賞状

14. 組合せ 専門部委員会により、決定する。
7月19日（土）10：00～ 鈴鹿市立大木中学校

15. 全国大会・東海大会について

本大会の優勝校、個人各階級の優勝者は8月19日（火）～22日（金）に行われる第56回全国中学校柔道大会（福岡県）に出場する。また、男子団体・個人各階級の優勝・準優勝・3位・4位校（者）、女子団体・個人各階級の優勝・準優勝校（者）は、8月8日（金）～9日（土）に行われる第47回東海中学校総合体育大会柔道大会（愛知県）に出場する。

16. 問合せ先 柔道競技専門委員長 山田 啓義
勤務先：鈴鹿市立大木中学校 連絡先：059-385-0316